

「エコステ」モデル駅の工事着手について

- JR東日本では、省エネルギー・再生可能エネルギーなど様々な環境保全技術(エコメニュー)を駅に導入する取組み「エコステ」を実施しています。
- エネルギーの地産地消を実現し、CO₂排出をゼロとする「ゼロエミッション」を目指す「エコステ」モデル駅として、東北本線平泉駅を整備します。
- 設備の使用開始は6月末を予定しています。(改良工事は4月16日に着手済)

1. 平泉駅での実施内容

平泉駅は、世界文化遺産に登録された「平泉」の玄関口であり、周辺は自然に囲まれた環境であることを踏まえ、駅使用電力を自然エネルギーで賅う「ゼロエミッション」を目指した「エコステ」モデル駅を整備します。

具体的には、太陽光発電と蓄電池を組み合わせることにより、晴天日(※)においては駅電力使用量をすべて賅いCO₂の排出をゼロにする「ゼロエミッションステーション」を実現します。

※気象庁用語によると、1日の日照時間が可照時間の40%以上の日をいい、平泉駅付近は年間170日程度です。



(平泉駅完成イメージ)

(導入を進める設備)

エコステメニュー		主な内容
①	省エネ	ホームや駅事務所にLED照明を導入します。
		遮熱塗装により駅舎の断熱性を向上します。
②	創エネ	駅東側に太陽光発電(500㎡、78kW)と蓄電池(240kWh)を設置します。
③	エコ実感	太陽光発電量等を表示するエコ情報表示盤を設置します。

(年間電力使用量の約8割を太陽光発電でカバーする見込み。)

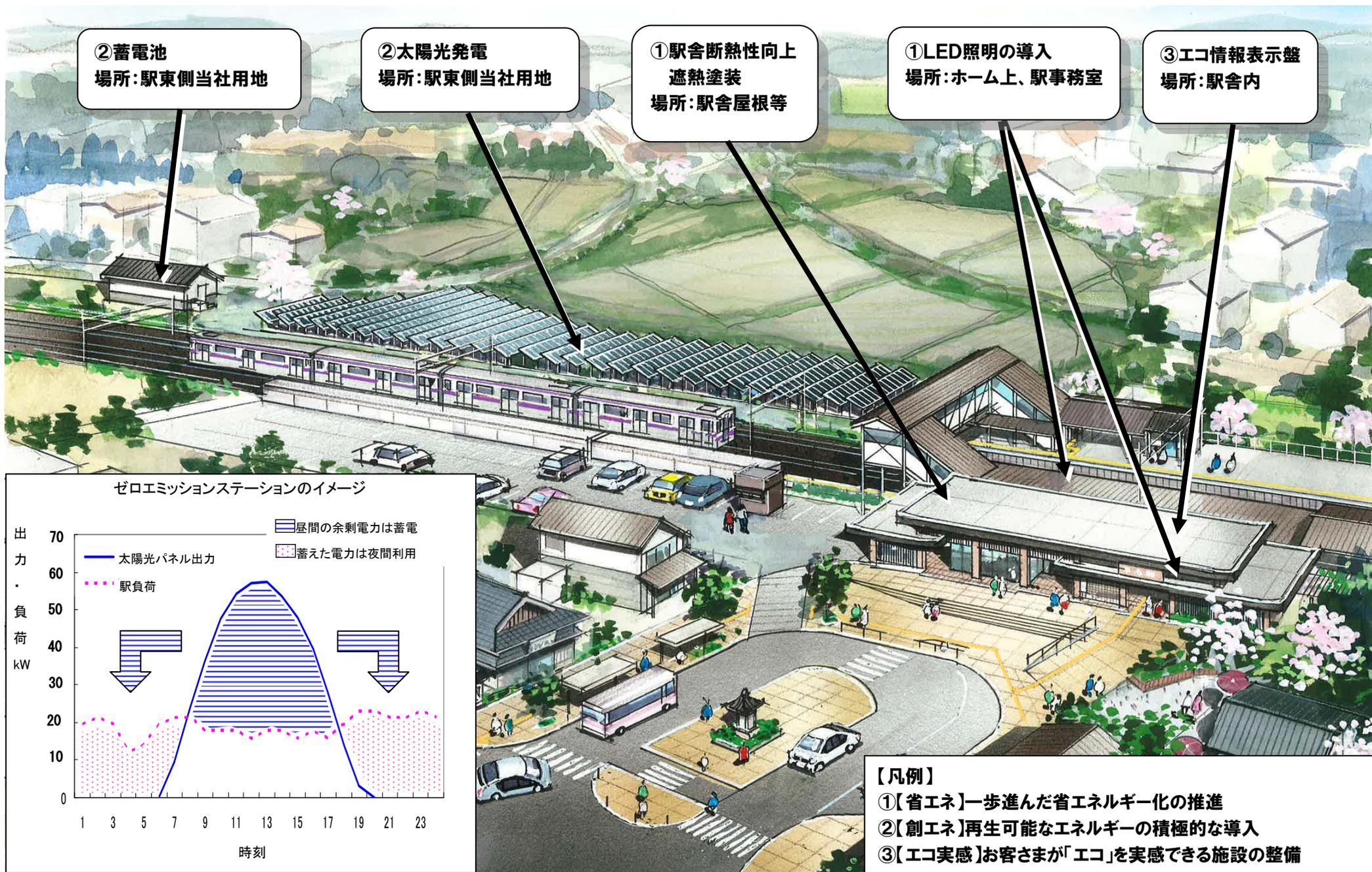
2. 今後の取り組み

「エコステ」モデル駅の取り組みについては、京葉線海浜幕張駅や中央本線小淵沢駅の検討を進めており、今後も順次導入してまいります。

なお、2012年3月より中央本線四ツ谷駅がモデル駅第1号として本格稼働しています。

エキはエコへ～「エコステ」モデル駅(平泉)

別紙



②蓄電池
場所: 駅東側当社用地

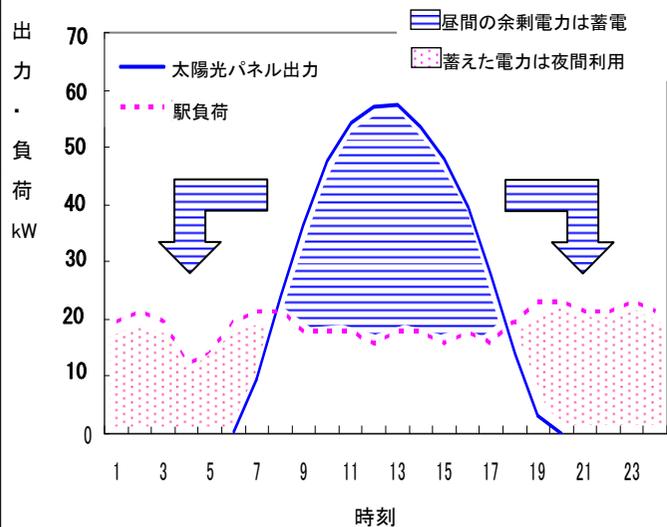
②太陽光発電
場所: 駅東側当社用地

①駅舎断熱性向上
遮熱塗装
場所: 駅舎屋根等

①LED照明の導入
場所: ホーム上、駅事務室

③エコ情報表示盤
場所: 駅舎内

ゼロエミッションステーションのイメージ



【凡例】

- ①【省エネ】一歩進んだ省エネルギー化の推進
- ②【創エネ】再生可能なエネルギーの積極的な導入
- ③【エコ実感】お客さまが「エコ」を実感できる施設の整備

参考

東北本線 平泉駅

位置:東北本線 東京起点452.3km

- ・仙台駅から100.5km
- ・一ノ関駅から盛岡方へ2駅、7.2km

所在地:岩手県西磐井郡平泉町平泉字泉屋76

開業:1898年(明治31年)5月28日
(2011年11月1日リニューアル駅舎使用開始)

駅構造:2面2線 相対式ホーム

1日平均乗車人員:411人(2010年度)

